

老人保健事業

市町村が老人保健法に基づいて総合的に実施する疾病の予防、機能訓練、訪問指導等の保健事業(医療を除きます。)について、実施状況を把握するため「老人保健事業報告」が毎年度実施されています。

1 健康手帳の交付

70歳以上の者(平成14年10月1日以降は75歳以上の者(平成14年9月30日の時点で70歳以上であった者を含む。))、又は65歳以上で一定以上の障害の状態にある者には老人保健法による医療受給者証が交付されます。

また、保健事業の対象となる40歳以上の者で希望するものには健康管理に資するものとして健康手帳が交付されます。

医療受給者証異動状況及び健康手帳の交付状況の年次推移は次のとおりです。

医療受給者証の異動状況・健康手帳の交付状況の年次推移

年度	医療受給者証の異動状況							健康手帳 交付状況(人) (医療受給者 資格者以外)
	新規交付		資格喪失		年度末現在数			
	70歳 以上 1)	65～ 69歳 2)	70歳 以上 1)	65～ 69歳 2)	総数	70歳 以上 1)	65～ 69歳 2)	
平成10年度	21,854	1,457	13,673	1,085	216,220	209,037	7,183	24,877
平成11年度	20,121	1,607	11,673	1,201	225,145	217,382	7,763	23,845
平成12年度	19,337	1,590	11,039	1,014	234,922	226,736	8,186	21,623
平成13年度	19,753	1,298	12,634	1,507	241,823	234,051	7,772	21,115
平成14年度	12,583	1,481	12,607	1,253	240,014	232,470	7,544	32,419

注1):平成14年10月1日以降は75歳以上(平成14年9月30日の時点で70歳以上であった者を含む)

2):平成14年10月1日以降は65～74歳

2 健康教育

心身の健康についての自覚を高め、かつ心身の健康に関する知識を普及啓発することを目的に行う健康教育は、個別健康教育と集団健康教育等とに大別されます。実施状況は次のとおりです。

個別健康教育の内容別にみた指導開始・修了者数及び終了した割合

平成 14 年度

	総数	高血圧	高脂血症	糖尿病	喫煙
指導開始(人)	272	17	130	79	46
指導終了(人)	216	16	100	71	29
指導終了した割合(%)	79.4	94.1	76.9	89.9	63.0

集団健康教育等の実施状況

平成 14 年度

		開催回数(回)	参加延人員(人)	1回あたり 参加人員(人)
総数		4,838	111,588	23.1
集団 健康 教育	総数	4,758	110,082	23.1
	歯周疾患	148	2,412	16.3
	骨粗鬆症	642	11,737	18.3
	病態別	1,344	28,335	21.1
	薬	33	502	15.2
	一般	2,591	67,096	25.9
介護家族		80	1,506	18.9

3 健康相談

心身の健康についての個別の相談に応じて必要な指導や助言を行い、家庭における健康管理に役立たせています。実施状況は次のとおりです。

健康相談の実施状況

平成 14 年度

		開催回数(回)	被指導延人員(人)	1 回あたり 被指導人員(人)
総数		10,329	149,457	14.5
重点 健康 相談	総数	2,514	36,419	14.5
	高血圧	478	7,055	14.8
	高脂血症	313	5,953	19.0
	糖尿病	248	3,288	13.3
	歯周疾患	125	1,287	10.3
	骨粗鬆症	297	4,969	16.7
	病態別	1,053	13,867	13.2
介護家族健康相談		76	621	8.2
総合健康相談		7,739	112,417	14.5

4 基本健康診査

心臓病、脳卒中などの成人病の予防や早期発見のため、必要な診査と診査結果に基づく指導を行い、壮年期からの健康管理と老後の健康の保持に役立たせようとする健康診査の受診状況の年次推移は次のとおりです。

健康診査の年齢階層別受診実人員の年次推移

年度	総数	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
平成5年度	113,356	20,212	27,938	42,911	22,295
平成6年度	113,266	19,374	26,742	43,844	23,306
平成7年度	112,360	18,890	25,629	43,540	24,301
平成8年度	114,523	18,953	25,000	43,704	26,866
平成9年度	115,398	17,601	24,738	43,786	29,273
平成10年度	113,748	15,937	23,835	43,205	30,771
平成11年度	112,347	14,832	24,229	41,234	32,052
平成12年度	114,137	13,597	24,575	41,949	34,016
平成13年度	113,817	12,967	24,265	41,040	35,545
平成14年度	115,518	12,470	24,072	40,629	38,347

5 がん検診

早期に発見し治療に結びつけることは、がん予防対策上重要な課題であり、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん(女性のみ)、乳がん(女性のみ)の検診を実施しています。年次推移は、次のとおりです。

がん検診の受診実人員の年次推移

年度		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん (頸部)	子宮がん (体部)	乳がん
男	平成 10 年度	21,969	36,461	24,855	-	-	-
	平成 11 年度	21,590	35,144	24,490	-	-	-
	平成 12 年度	21,562	36,459	25,752	-	-	-
	平成 13 年度	21,945	35,593	26,594	-	-	-
	平成 14 年度	21,870	34,581	26,981	-	-	-
女	平成 10 年度	40,218	67,161	47,753	38,854	23	31,569
	平成 11 年度	39,194	64,544	46,199	36,771	140	30,179
	平成 12 年度	38,958	61,773	48,531	36,990	164	31,866
	平成 13 年度	39,111	60,933	49,817	38,754	219	33,344
	平成 14 年度	38,463	59,997	49,849	37,540	309	32,073

がん検診

- ・「胃がん」... 問診及び胃部エックス線検査。
- ・「肺がん」... 問診、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診。
- ・「大腸がん」... 問診及び便潜血検査。
- ・「子宮がん」... 問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診とし、必要に応じてコルポスコブ検査。
医師が必要と認めるものに対しては、子宮体部の細胞診(子宮内膜細胞診)。
- ・「乳がん」... 問診、視触診及び乳房エックス線検査。

6 機能訓練

脳卒中の後遺症、リウマチなどの骨関節疾患、老化などで身体が不自由になったり機能が低下したりしている40歳以上の住民を対象に、身体機能の維持・回復を図り、日常生活の自立を助ける機能訓練を実施しています。実施状況は、次のとおりです。

機能訓練の実施施設数・実施回数・被指導人員

平成14年度

	総数	A型 (基本型)	B型 (地域参加型)
実施施設数(施設)	151	26	125
実施回数(回)	2,997	1,547	1,450
被指導延人員(人)	27,864	9,790	18,074
1回あたり被指導人員(人)	9.3	6.3	12.5

7 訪問指導

家庭で寝たきりの状態にあたり、健康診査などの結果指導が必要と認められる40歳以上の者(要指導者等)に対して、主治医との連携のもとに保健師や看護師などが訪問して、家庭での療養・看護・機能訓練等の方法に関する指導を行っています。訪問指導の実施状況は、次のとおりです。

訪問指導の対象者の年齢階級別にみた被指導延人員

平成14年度

	総数	40～64歳	65～69歳	70歳以上
要指導者等	16,296	5,072	3,050	8,174
個別健康教育対象者	142	74	38	30
閉じこもり予防	4,480	682	449	3,349
介護家族者	3,107	983	522	1,602
寝たきり者	4,395	450	342	3,603
痴呆性老人	1,486	48	186	1,252
その他	1,942	565	222	1,155